

1 学年・教科 高等学校1～3学年 工業科（その他の学科でも応用可能）

2 テーマ 「小・中学生を対象とした出前授業」

3 指導計画

時間	ねらい	学習活動	評価			
			知	思	態	評価方法
1	人に伝える工夫のため、自らの知識・技術について学び直し、その利用例についても思考させる。	小・中学生に内容を伝えるための工夫について考える。	○	○		ワークシート グループワーク
2 3 4 本時	これまで学ぶだけであった知識・技術について、それを活用する体験をさせる。	工夫を生かし、小・中学生に対して、自らの知識・技術を、実社会での利用例も含めて伝える。	○	○	○	行動観察 発言 対応
5	自らの知識・技術と職業への関連についてイメージをもたせる。	授業実施のなかで気付いた点についての学び直しと、知識・技術の実社会での利用、職業への関連を考える。	○	○		ワークシート グループワーク

4 期待できる基礎的・汎用的能力

- (1) 人間関係形成・社会形成能力（コミュニケーション力）【人】
- (2) 自己理解・自己管理能力（自分にできること、必要な学直し）【自】
- (3) 課題対応能力（職業への課題の発見、適切な計画）【課】
- (4) キャリアプランニング能力（自らの学びと実社会の職業への関連）【キ】

5 本時の目標

- (1) 授業実施のなかで気付いた点や不明点について再度学び直す機会とする。
- (2) 自らの学びの活用、実社会への関連について気付く機会とする。

★小・中・高接続のポイント

小・中学生に対して学校で学ぶ内容に関連させて、高等学校の生徒が職業に繋がる知識・技術を教える。小・中学生が学びを深める機会となる。

6 本時の指導（2～4／5時） 高等学校 工業科 の例

	時配	学習活動	指導上の留意点 ★キャリア教育の視点	評価			
				知	思	態	評価方法
導入	15分	<p>例「はんだづけ」</p> <ul style="list-style-type: none"> 受講生（小・中学生）へ本時の内容説明をする。 器具の取扱い方法と安全指導を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 受講生に、内容と本時の流れを伝える。 作業の危険性と安全な方法を伝える。 <p>★伝えることの難しさを実感させる。 【人】【自】</p>	○	○		行動観察 発言
展開	120分	<ul style="list-style-type: none"> 電気回路の働きについて、例を示して説明する。 「はんだづけ」について、見本を示した作業説明をする。 はんだづけによる回路の製作指導をする。 <p>※小・中「理科」、中「技術」に関連</p>	<ul style="list-style-type: none"> 小・中学校での学習に関連させ、わかりやすく伝える。 作業をイメージしやすいように丁寧に見本を示す。 個々の作業進度に合わせて指導する。 <p>★知識・技術を実践として活用できることを実感させる。 【人】【自】</p>	○	○	○	行動観察 発言 対応
まとめ	15分	<ul style="list-style-type: none"> 本時で製作した回路の実社会での活用を説明する。 職業への関連を説明する。 	<ul style="list-style-type: none"> 実施内容と実社会での活用を伝える。 <p>★学習内容と職業との関連を意識させる。 【課】【キ】</p>	○	○		行動観察 発言

★その他

- ・工業科以外の専門学科（農業科や商業科等）においても各内容で実施可能。
- ・体育・理数・国際科等での高度な知識の提示機会としても活用可能。
- ・教員基礎コース等での実践としても活用可能。
- ・普通教科についても、生徒が学んできた内容を伝える目的で実施可能。
- ・実施形態として、高等学校に小・中学生を招いて行う「先取り授業」も可能。